

平成11年「全国消費実態調査」結果の概要

このたび、平成11年「全国消費実態調査」（指定統計第97号）の結果がまとまりましたので、その概要を紹介します。なお、ここに掲げる数値は二人以上の一般世帯に関する数値です。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「全国消費実態調査」は、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を総合的に調査し、消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的として、昭和34年の第1回調査以来5年ごとに実施されており、今回は9回目の調査である。

(2) 調査の実施期間

二人以上の一般世帯については、平成11年9～11月の3か月間、単身世帯については、10月及び11月の2か月間調査を実施した。

(3) 調査事項

調査世帯について、家計上の収入と支出、生活用品の購入先、主要耐久消費財等、年間収入及び貯蓄・借入金残高、世帯及び世帯員、現住居及び現住居以外の住宅・宅地に関する事項を調査した。

第1表 札幌市の1世帯当たり1か月間の収入と支出

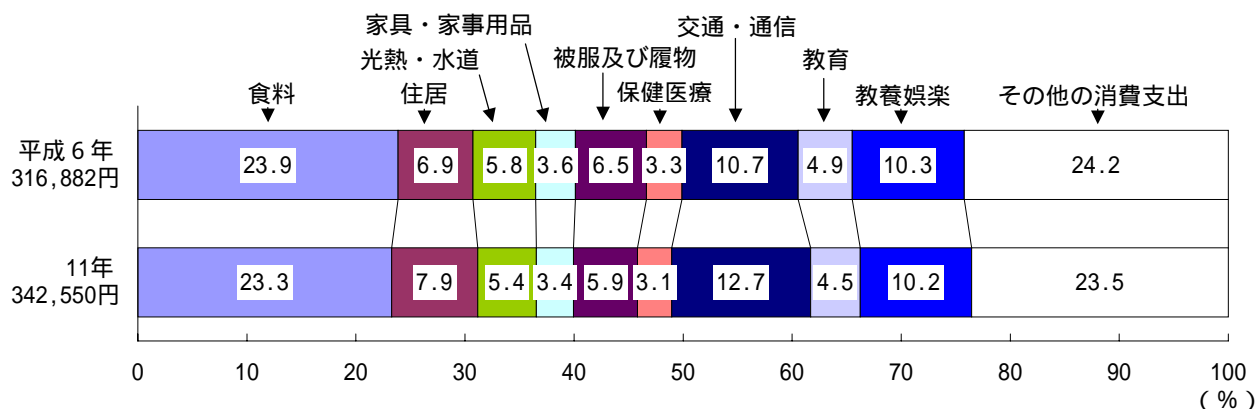
二人以上の一般世帯についての数値である。

収 支 項 目	各年9～11月平均							
	実 数				割 合 (%)			
	全 世 帯		勤 労 者 世 帯		全 世 帯		勤 労 者 世 帯	
	平成6年	11年	6年	11年	6年	11年	6年	11年
集 計 世 帯 数	408	406	302	260	-	-	-	-
世 帯 人 員 (人)	3.34	3.25	3.58	3.48	-	-	-	-
有 業 人 員 (人)	1.30	1.22	1.42	1.43	-	-	-	-
世 帯 主 の 年 齢 (歳)	48.4	49.9	44.5	44.9	-	-	-	-
年 間 収 入 (千円)	6,660	7,336	6,770	7,750	-	-	-	-
実 収 入	471,546	540,467	-	-	100.0	100.0
経 常 収 入	462,206	533,346	-	-	98.0	98.7
勤 め 先 収 入	436,556	506,036	-	-	92.6	93.6
事 業 ・ 内 職 収 入	1,970	5,897	-	-	0.4	1.1
他 の 経 常 収 入	21,725	14,604	-	-	4.6	2.7
可 処 分 所 得 ¹⁾	389,995	443,842	-	-	82.7	82.1
実 支 出	408,254	465,718	-	-	-	-
消 費 支 出	316,882	342,550	326,703	369,094	100.0	100.0	100.0	100.0
食 料	75,655	79,704	76,259	81,023	23.9	23.3	23.3	22.0
住 居	21,744	27,083	20,166	32,073	6.9	7.9	6.2	8.7
光 熱 ・ 水 道	18,244	18,345	18,296	18,431	5.8	5.4	5.6	5.0
家 具 ・ 家 事 用 品	11,512	11,694	11,697	12,173	3.6	3.4	3.6	3.3
被 服 及 び 履 物	20,615	20,147	21,473	21,577	6.5	5.9	6.6	5.8
保 健 医 療	10,308	10,704	10,604	10,783	3.3	3.1	3.2	2.9
交 通 ・ 通 信	33,837	43,659	37,935	52,073	10.7	12.7	11.6	14.1
教 育	15,671	15,551	17,244	17,043	4.9	4.5	5.3	4.6
教 養 娯 楽	32,571	35,067	34,034	34,493	10.3	10.2	10.4	9.3
そ の 他 の 消 費 支 出	76,725	80,593	78,995	89,424	24.2	23.5	24.2	24.2
非 消 費 支 出	81,551	96,625	-	-	-	-
平均消費性向 (%) ²⁾	83.8	83.2	-	-	-	-
平均貯蓄率 (%) ³⁾	9.5	7.3	-	-	-	-

注：1) 実収入 - 非消費支出 2) 消費支出 / 可処分所得 3) {(預貯金 - 預貯金引出) + (保険掛金 - 保険取金)} / 可処分所得

<資料> 総務省統計局「全国消費実態調査」

第1図 1か月平均消費支出の費目別構成（全世帯） - 平成6，11年 -



注：二人以上の一般世帯に関する数値である。

<資料> 総務省統計局「全国消費実態調査」

2 全世帯の1世帯当たり1か月間の支出

第1表により、全世帯について家計の支出状況をみると、平成11年9～11月の1か月平均の「消費支出」は342,550円となっており、前回調査時（6年9～11月平均、316,882円）に比べて、25,668円（対前回増加率8.1%）の増加となっている。

「消費支出」を10大費目別にみると、「その他の消費支出」（諸雑費、こづかい、交際費、仕送り金）が80,593円で、消費支出総額の23.5%を占めて最も多く、次いで「食料」が79,704円（消費支出総額の23.3%）となっており、この2費目で消費支出総額の約半分を占めている。

また、10大費目別割合を6年と比較すると、「交通・通信」（6年10.7%、11年12.7%）で2.0ポイント、「住居」（6.9%、7.9%）で1.0ポイントの上昇となっている。これに対し、それ以外の8費目については割合が低下しており、「その他の消費支出」（24.2%、23.5%）では0.7ポイント、「食料」（23.9%、23.3%）及び「被服及び履物」（6.5%、5.9%）では0.6ポイントの低下などとなっている。

3 勤労者世帯の1世帯当たり1か月間の家計収支

第1表により、勤労者世帯（全世帯のうち、世帯主が会社や官公庁などに雇用されている世帯）について家計の状況をみると、平成11年9～11月の1か月平均の「実収入」は540,467円となっており、前回調査時（6年9～11月平均、471,546円）に比べて、68,921円（対前回増加率14.6%）の増加となっている。「実収入」のうち受贈金等の特別収入を除いた「経常収入」は533,346円となっており、その内訳では、「勤め先収入」が506,036円で、「実収入」の93.6%と圧倒的に高い割合を占めている。また、「実収入」から税金や社会保険料などの「非消費支出」を除いた「可処分所得」は443,842円となっている。

「消費支出」は総額で369,094円となっており、6年（326,703円）に比べて、42,391円（対前回増加率13.0%）の増加となっている。「消費支出」を10大費目別にみると、「その他の消費支出」が89,424円で、消費支出総額の24.2%を占めて最も多く、次いで「食料」が81,023円（消費支出総額の22.0%）となっており、この2費目で消費支出総額の約半分を占めている。

また、10大費目別割合を6年と比較すると、「住居」（6年6.2%、11年8.7%）及び「交通・通信」（11.6%、14.1%）でそれぞれ2.5ポイントの上昇となっており、「その他の消費支出」では6年（24.2%）と同じ割合となっている。それ以外の7費目については割合が低下しており、「食料」（23.3%、22.0%）で1.3ポイント、「教養娯楽」（10.4%、9.3%）で1.1ポイントの低下などとなっている。

次に、「平均消費性向」と「平均貯蓄率」をみしてみる。「平均消費性向」とは「可処分所得」

に対する「消費支出」の割合であり、「平均貯蓄率」とは「可処分所得」に対する「貯蓄純増」（預貯金と保険掛金の合計から預貯金引出と保険取金の合計を差し引いたもの）の割合である。

11年の「平均消費性向」は83.2%で、6年（83.8%）に比べて0.6ポイント低下している。また、「平均貯蓄率」は7.3%となっており、6年（9.5%）に比べて2.2ポイントの低下となっている。

4 主要耐久消費財の所有状況

第2表は、平成11年「全国消費実態調査」で調査した主要耐久消費財のうち、1,000世帯当たり所有数量が多い品目、前回調査の6年に比べて所有数量の増加率が高い品目及び普及率が高い上位5品目を表したものである。

まず、1,000世帯当たり所有数量をみると、「カラーテレビ」（2,053台）、「カメラ」（1,700台）などの教養娯楽用耐久財や「整理だんす」（1,805台）、「茶だんす・食器戸棚」（1,442台）、「洋服だんす」（1,347台）などの収納用一般家具で所有数量が多くなっている。

また、所有数量の平成6～11年の増加率をみると、「ファクシミリ」（442.1%増）、「パソコン」（134.7%増）などの情報・通信関連耐久消費財や「ルームエアコン」（128.0%増）などで高くなっている。

普及率では、「電気冷蔵庫」（99.8%）、「カラーテレビ」（99.3%）、「電気洗濯機」（99.2%）などの家電製品の普及率が高くなっている。

なお、11年に新規調査項目になった「携帯電話」の1,000世帯当たり所有数量は886台、普及率は57.7%となっている。

第2表 1,000世帯当たり主要耐久消費財の所有数量、増加率及び普及率が高い上位5品目（全世帯）

二人以上の一般世帯についての数値である。

各年10月末日現在

耐 久 消 費 財 品 目	1,000世帯当たり所有数量			普 及 率 (%)	
	実 数		増加率(%)		
	平 成 6 年	11 年	6 ~ 11 年	6 年	11 年
1 所有数量が多い品目					
(1) カラーテレビ	1,891	2,053	8.6	99.8	99.3
(2) 整理だんす 1)	1,774	1,805	1.7	90.1	87.0
(3) カメラ	1,397	1,700	21.7	88.6	92.4
(4) 茶だんす・食器戸棚	1,307	1,442	10.3	94.6	94.2
(5) 洋服だんす 1)	1,285	1,347	4.8	91.3	84.3
2 所有数量の増加率が高い品目					
(1) ファクシミリ 2)	76	412	442.1	7.4	40.0
(2) パソコン	259	608	134.7	20.9	43.7
(3) ルームエアコン	75	171	128.0	6.7	13.7
(4) 温水洗浄便座	350	575	64.3	32.8	52.7
(5) システムキッチン	290	474	63.4	29.0	45.7
3 普及率が高い品目					
(1) 電気冷蔵庫	1,113	1,177	5.8	99.0	99.8
(2) カラーテレビ	1,891	2,053	8.6	99.8	99.3
(3) 電気洗濯機	1,029	1,029	-	100.0	99.2
(4) 電気掃除機	1,277	1,290	1.0	99.3	98.8
(5) 電子レンジ 3)	968	1,006	3.9	92.5	95.2
(特 掲)					
携帯電話 (PHSを含む) 4)	...	886	57.7

注：1) 作り付けを除く。 2) コピー付を含む。 3) 電子オープンレンジを含む。 4) 新規調査項目である。

<資料> 総務省統計局「全国消費実態調査」